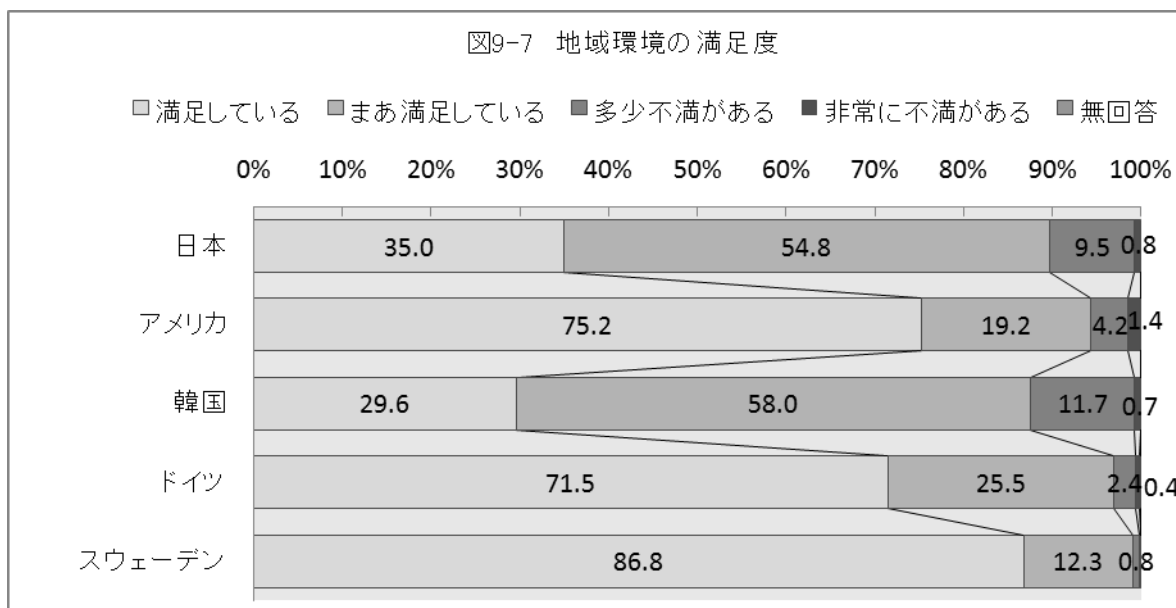


## IV 地域環境の満足度と問題点

### 1 地域環境の満足度 (Q38)

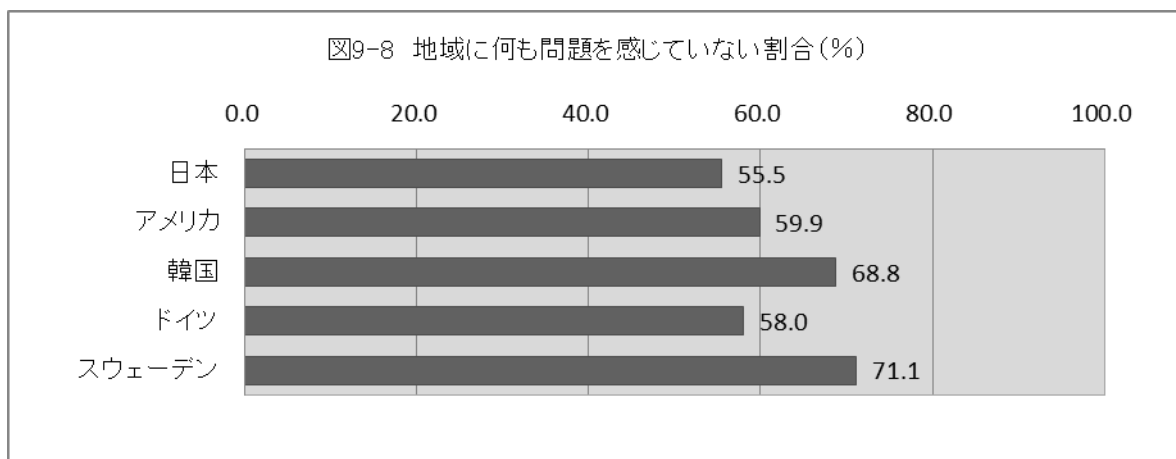
地域環境に関する総合的な満足度は、「満足している」「まあ満足している」という者をあわせると、スウェーデン 99.1%、ドイツ 97.0%、アメリカ 94.4%、日本 89.8%、韓国 87.6%であった。欧米3カ国とアジア2カ国の間に多少の差がある。(図9-7)



満足していると答えた割合だけで見ると、スウェーデンが最も高く 86.8%で、次いでアメリカが 75.2%、ドイツ 71.5%である。アジア2カ国の満足している割合は、日本 35.0%、韓国 29.6%に留まり、まあ満足の回答が過半を占めている。欧米の国とは大差がある。

### 2 地域の問題点 (Q37)

地域に何も問題を感じていない値は、スウェーデン 71.1%、韓国 68.8%、アメリカ 59.9%、ドイツ 58.0%、日本 55.5%で、日本が最も低い。(図9-8)



問題と感じている中身についてみると。日本の場合は、日常の買い物に不便 14.9%、バスなど公共交通が不便 10.8%、医院や病院への通院に不便 9.6%と、地域の利便性についての値が相対的に大きい。

ドイツの場合も、日常の買い物に不便だという指摘が 19.7%と他の選択肢に比べると高い値を示す。

韓国の場合は、交通機関が利用しにくい 13.5%、医院や病院への通院に不便 12.0%の指摘が相対的に多い。

アメリカは、公共交通機関の整備不足 13.1%、盗難・放火等の犯罪が心配 12.4%という指摘が他の選択肢に比べると多い。犯罪への不安は、アメリカの場合、毎回の調査で指摘の多い項目であるが、第4回調査（1995年）から第6回調査（2005年）までの変化をみると、31.7%→16.0%→10.4%と低下しており、著しい改善がみられたが、今回調査では 12.4%と若干上昇している。（図 9-9）

